

件名	東京2020オリンピック・パラリンピックの中止に関する陳情		
番号 付託委員会	3第 6号 文教 委員会付託		
受理年月日	令和 3年 1月 4日	郵便番号	345-0034
住所・氏名			
<p>(願 意)</p> <p>都において、関係機関に次のことを働き掛けていただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 東京2020オリンピック・パラリンピック（以下「オリンピック」という。）については、これを中止すること。 2 オリンピックの中止による剰余金等を、東京都民、特に生活困窮者等の養護等、救済のために利用すること。 <p>(理 由)</p> <p>現在、新型コロナウイルス感染症による我が国の医療機関のひっ迫は、樂觀できない状況にある。また、既に当該ウイルスの変異種まで発生している。さらに、ワクチンの効能も過信できない状況である。</p> <p>そして、我が国の世論は、過半数がオリンピックに反対で、開催に対する意欲を失い、冷め切っている。今年の夏、諸外国の多数の人々を入国させ、1か所に集中させることによる感染爆発及び医療崩壊のリスクは甚大であり、単なる精神論又は希望的観測などで看過できるものではない。何より、我々国民は、今だけを見て一過性のオリンピックへの拒否反応の発作を起こしているのではなく、今を生き残らなければ未来がない旨、当然の論理にのっとり、オリンピックに警鐘を鳴らしているのである。</p> <p>医療従事者は、今、悲鳴を上げている。医療従事者はオリンピックのための道具ではない。尊い人間である。</p> <p>人の命に代えられるものはない。人の命を大切にすることなく、SDGsにのっとり誰一人取り残さない欺まんのない真の共生社会の実現などあり得ない。</p> <p>オリンピックは中止すべきである。併せて、当該中止の剰余金等を生活困窮者等の救済に使うべきである。</p>			